

巳にあやかり

2025年、巳年の到来です。残念ながら当館にはヘビの類の化石はないのですが、ヘビのように首がながい生物の化石が、吹き抜けのホール天井から吊下がっています。全長10mを超えるクビナガリュウのなかま、タラソメドンの化石です。恐竜時代の海に暮らしていた爬虫類で、からだの半分近くを占める首には60個以上の骨が連なっています。

顎にぐるりと生えた歯は、いずれもタケノコみたいな形。切ったりすり潰したりすることは不得手なので、とらえた獲物はほぼ丸のみしていたようです。歯があまりすり減っていない様から、柔らかい軟体動物を好んで食べていたとする説もあるようですが、この長い首でイカを丸のみするなんて、想像しただけで大変そう！毎年この時期、餅をのどに詰まらせ救急搬送される人が急増することを思



現代に似た生物がないこともあり、その生態は謎に包まれています。

えば、屈強な首の仕組みに脱帽です。ピア樽にたとえられることもある丸っこいからだは、クジラやイルカのように身をくねらせるには不向きで、脇に生えた四つのヒレをオールのように使って力強く泳いでいたようです。陸上の生物と単純に比較はできませんが、水圧に耐え、この巨体の隅々まで血液を巡らせていた心臓は、さぞ頑丈だったのだろうと想像します。そんな強者ながら、海底の生きものをとらえるために頭を垂れていた姿で描かれることも多いクビナガリュウ。…なんだか、稲穂を思わせる縁起の良い生物に思えてきたのは、欲目でしょうか。

ID 0203429

1月 イベントカレンダー

- ショー
- ワークショップ
- おはなし
- かんさつ

- 4 観て触れて、科学と親しもう！
  - 5 電子顕微鏡講座  
生きものからだを見てみよう！
  - 11 平出さん・中村さんのマジックショー
  - 12 小学校低学年向けがく工作室  
牛乳パックでびっくり箱をつくろう
  - 13 明日はタロとジロの日！  
南極の氷を観察してみよう！
  - 16 一般科学講座  
大人の理科授業ユーリカ！④
  - 18 電子顕微鏡講座  
身近なものを見てみよう！
  - 19 小学校中学年向けがく教室  
静電気であそぼう
  - 25 おはなしライブ  
歩くとポコポコカップンづくり
  - 26 小学校高学年向け理科実験室  
お神酒天神をつくろう
- 展示解説  
「カンパリア紀のなかまたち」  
各イベントの時間・定員・申込方法などは科学館ホームページで確認してください。

ID 0203729

第10回 看板コンクール 作品募集

- テーマ わたしが想像する古代の海の生物たちのようす
- 対象 小学生（1人1点）
- 作品 ・四つ切画用紙（横描き） ・標語などの文字がないこと ・応募者のオリジナルで未発表のもの
- 提出方法 1月4日（日）～31日（日）に直接または郵送で、作品を生命の海科学館（〒443-0034 港町17-17）へ。  
※受賞者発表は3月初旬予定



科学館正面の円形看板に掲示する作品を募集します。古代の海の生物たちはどんなようすで生息していたのかな？ 楽しく自由に描いてみよう！ 特選作品はパネル化し、1年間看板として掲示します。

